

2022/7/2-3

(It`s a English. Our side language English II tired and tired, your car`s tire is fine?)書庫版



それでは今回の記事は予告通り tired。

是は我が国ではとても popular な英語で

I`m tired

と言えば言わずと知れた「疲れた～」です。

同じ言葉ですが

I`m tired と書いて「飽きた～」にもなります。

是は状況次第でどちらもありの様です。

もし区別をしたければ

I`m tired out が「疲れ切る」

で

I`m tired of が「飽きる」

だそうです。

処でちょっと意外だったのは車のタイヤ tire と疲れたなり飽きたなりの be tired の語幹が同じ tire であったことです。先ほど偶然気が付きました。

でなぜ語幹が一緒なのか早速考えてみました。

タイヤと言えばぱっと思いつくのが

「わっか」

「擦り減る」

「無限回転円運動」

となれば

「同じ轍(わだち、同じ轍を踏むのでつ)の中をぐるぐる回ってだんだん深みに足を取れ、

回れば回るほど却って抜け出せなくなる自縄自縛の無限徒労運動」

を自分は思い浮かべました。

うつ病から抜け出そう抜け出そうともがけばもがくほど深みに嵌っていったトラウマからです。

なので、そのイメージなら「いい加減疲れる」「いい加減飽きてくる」の be tired とタイヤの tire の語幹が一緒でも「当然だろうな」と思いました。

I was tired too much enough, and at last have (or had) done being tired Ups.

(いい加減疲れて、最後は嫌になっちゃった (ウンザリしちゃった=飽きちゃった)

最後に使った ups はちょっとした「オエッ」みたいな感じの表現で使いました。

又 have じゃなくて had なら、それは昔の事で、今はそうじゃないというニュアンスが表せます。

無理やり had を和訳すれば「当時は」とでもいたしましょうか。